

資源循環ワーキンググループの設置について

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
持続可能性部



資源循環ワーキンググループの位置づけ

- 大阪・関西万博の準備、運営を通じて持続可能性の実現に向けた方策を検討するため、2021年12月に持続可能性有識者委員会を設置。
- さらに具体的な議論のため、調達ワーキンググループ、脱炭素ワーキンググループを設置し、それぞれ議論を進めているところ。
- 2022年8月より資源循環勉強会を2回開催し、企業や団体から資源循環に関する取組の発表等を実施。

持続可能性有識者委員会 ※2021年12月設置
持続可能な万博運営に関して議論を行う

持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針(2022/4公表)

調達ワーキンググループ
※2022年3月設置
調達コードの策定・運用に関する検討を行う

脱炭素ワーキンググループ
※2022年7月設置
CNを実現するための電源構成やオフセットの検討を行う

資源循環ワーキンググループ
※2023年1月設置
これまでは資源循環勉強会として実施

持続可能性に配慮した調達コード
(2022/6公表)

改定版EXPO2025グリーンビジョン
(2022/4公表)

趣旨・目的

- 大阪・関西万博において、持続可能な万博の運営を目指すとともに、地球環境問題への新たな挑戦の形を世界に示していくにあたって、資源循環に関する基本的な考え方や具体的な取組内容等について、専門的視点から議論・検討を行う。
- 当面、資源循環に関して目指すべき方向性や具体的な対策などを取りまとめた「EXPO 2025グリーンビジョン」の改定や具体的な取組内容について議論・検討を行う予定。（年3回程度の開催を予定。）

廃棄物を極力発生させない会場運営、全量循環的利用を目指す
3R+Renewable

会期後・会場外でのレガシーを残す方策

食器類

飲料容器

マイボトルの普及

食品ロス

食品廃棄物

容器包装

ノベルティ等配布物

一般的なプラスチック

紙の削減

ファッション

ごみの分別

建物リユース

建設資材のリサイクル

etc